

ジュニア広報 ならた



編集・発行
成田市教育委員会 / 〒286-8585 花崎町760番地 ☎22-1111大代表

総合的な学習の時間がスタートして こんなことを学んだよ!!

「総合的な学習の時間」は、子どもたちが自ら学び、考え、力を育むために、地域や学校、子どもたちの実態に応じて、育を与えるよう設けられた時間です。今回は豆記者のみなさんに「こんなことを学んだよ!!」(総合的な学習の時間がスタートして)というテーマで記事を書いてもらいました。学校で、地域で、子どもたちの様々な活動を紹介します。

世界のひとと友達に

私たちの学校では毎日、英語の



学習をしています。6年生になると参道活動というものがあります。参道にいる外国人に話しかけ、学校に招いてゲームをした

り、英語劇を見せたり、日本のものを紹介したりするものです。

私は参道で話しかける時が一番緊張します。でも笑ってこたえてくれる外国人の方に合わせて心の中があなたか

くなつてゆつてゆつていきます。私の将来の夢は世界のひとと友達になることです。私はその第一歩をこの学習で踏み出すことができたとおもいます。これからも もっと英語の

学習をして夢に近づきたいと思

ます。
成田小 鎌田 梨奈

ひととの接し方

11月13日・14日に職業体験学習でドーナツチェーン店へ行きドリンク作りをしました。

そのお店の信条は「高品質」「真心のもてなし」「清潔な店舗

とお聞き、頭に入れて仕事をしようと思いましたが、なかなかうまくできず、何度も失敗をしてしまいました。しかし、店員さんがフォローしてくれたので本当に良かったです。店員の方々には感謝

しています。
この体験ではひととの接し方などを学びました。これを生かし、将来について考えていきたいと思

ます。
西中 泉水 翔太



手話を覚えて役に立ちたい

6年生になって、総合的な学習の時間に手話を習いました。手話とは、耳と会話の不自由な方と健常者がコミュニケーション(対話)をするための方法です。それは身ぶり手ぶりを使い、自分の思っていることを相手に伝えるための最善なものです。

授業では、先生がある言葉を話した後、手話で表現してくれました。大事なことは、相手の目を見て、動作を大きく、ゆっくりわかりやすくすることです。難しい



言葉を表現できるように、耳や会話の不自由な方に質問されても大丈夫です。

世界各国で、手話が共通の会話方法になれば良い事だと思います。

神宮寺小 磯野 恵太

水と私たちの命

私たち6年生は総合的な学習の時間に「水と私たちの命」というテーマで学んでいます。最初に身近な根木名川の水と私たちの生活がどんな関係にあるのか調べました。

クラス全員で市役所へ行き、環境対策の方の話をお聞きしたばかりではなく、グループに分かれ

て源流部と下流部の実地調査や水質検査、川の歴史や生き物についてのことなどを一人一人が興味を持って取り組むことができました。残念なことに根木名川は私たちのせいで汚れています。川に空き缶やごみを捨てないことや、家から出る水を汚さない努力は私たちにもすぐできます。

水と命のことを調べれば調べるほど、これらが大切な問題であることがわかりました。

成田高校付属小 柏木 麻衣子



日光の魅力発見

私たちは修学旅行の前から、総合的な学習の時間に「日光の魅力発見」というテーマで学習を進めてきました。

クラスみんなが考えた日光の魅力は、たくさん滝、美しい紅



葉。そして、歴史のある東照宮でした。その中で、私は紅葉について調べるグループに入ることにしました。

紅葉のしくみや紅葉前線について、インターネットや資料から調べて掲示物を作りました。その後、発表の練習を何度もしました。授業参観の時の発表は、お母さんたちを前にしてとても緊張しました。

この時期、友達と協力して調べたり、発表したりすることができたので良い経験となりました。

久住第一小 鈴木 菜摘

ティーンアール T A R

豊住中では総合的な学習の時間

に、地区について調べるT A R（豊住エリアサーチ）というものがありません。T A Rは自然文学、歴史、環境の4つの分野について学習します。

私は自然分野について、仲間3人とメダカの調査をすることになり、実際に捕獲に行きました。また、有識者の方に聞き込みをしたり、本やインターネットも活用して、生息場所、産卵の仕方や雌雄の区別などについてまとめました。11月の発表会は大盛況でした。どのグループも発表に工夫をこらしてあり、楽しい時を過ごすことができました。

総合的な学習の時間は教科書を使用せず、自分たちで考え、調べ、学べるところが大きな魅力だと思います。

豊住中 山田 麻生



パソコンで オリジナルブック作り



今頃私たちは、パソコンでオリジナルブック作りをしています。その内容は、「駒の森について」です。駒の森は、遠山小に昔からある森で、植物の種類も豊富です。また、小川や泉などもあります。ほくは、この駒の森の様子や植物、実などを調べ、デジタルカメラで撮影し、パソコンで編集することになりました。先生方や友達に教えてもらい、今では自分で編集できるようになりました。

これから、さらに調べながら編集を続け、卒業する時には記念になる良いオリジナルブックを完成させようと思っています。

遠山小 根本 誠

働くことの 大変さ喜び

11月8日「職業体験学習」が行われました。ほとんどの班は美郷台のパン屋さんで仕込みなどを体験させていただきました。

パン作りは全て手作りです。モチがこめられています。ほとんどの体験はパン作りのほんの一部でしたが、お店の方々が毎日朝早い時間から夜遅くまで働かされているのを知りました。また、お客様に「おいしいと言っていただくのがやりがい」ともお聞きしました。



実感することができました。

成田中 関川 諒

硫黄のにおいは 忘れない



10月の修学旅行を前に、総合的な学習の時間で、グループごとに見学地について調べることになりました。

ほとんどのグループでは、みんなが大浦谷ハイキングコースに興味を持ちました。詳しく調べてみると、噴煙地など大自然を感じさせる場所がたくさんあることが

わかりました。成田は自然が少ないので、早くハイキングコースを歩いてみたいとなりました。修学旅行で実際に歩いてみると、思ったより距離が長くて大変でした。でも、大浦谷が近くにつれ、鼻をつく硫黄のにおいが出てきて、とても感動しました。絶対に忘れられないと思います。

橋賀台小 山田 康祐

「クチクチ びびびびびび」

ほとんどの家庭が持っている「目覚まし時計」。ほとんどの進路学習



の職業体験学習でいろいろな時計が並ぶ時計屋に行きました。そこで接客することや時計の構造やしくみについて学びました。商品の取り外しや分解もしてみました。がとても難しく、店長さんがていねいに教えてくれました。

また、プレゼント用の時計の包み方まで教えてくれました。とても苦戦しましたが、友達にも助けしてもらい、見本を見ながらようやくできた時はとてもうれしかったです。

玉造中 住田 竜馬

ぶくし

総合的な学習の時間に「ぶくし」について学習しています。保健福祉館を訪れ、話を聞くうちに、もっともっと福祉について知りたいと思うようになりました。家でも福祉に関する記事を読んだり、本やインターネットで調べたりするようになりました。



また、「竹林の家」の貝塚先生から老人介護についての話を聞きしました。おじいさんたちは自分が認められる時が一番楽しいことや、食べ物の好ききらい

いが無いことがわかりました。これからますます高齢化する社会の中で、祖父母を大切に、明るい社会を作りたいと思います。

中台小 西浦 桜子

高齢化社会上昇中！

「高齢化社会」の問題について調べることになりました。なぜなら八生地区ではお年寄りが多く、だんだん児童数が減ってきていることがクラスのみならず報告されたからです。

図書館の資料を調べ、日本は西欧諸国と比較すると2倍から4倍のスピードで高齢化が進んでおり、40年後には、3人に1人がお年寄りになるといこともわかりました。とてもショックでした。お年寄りの気持ちを聞くというインタビューもしました。お年寄りは若い人たちに優しくしてほしいそうです。



これからは お年寄りともふれあい、みんなが幸せだと思える社会にしていきたいです。

八生小 下村 祥子

よみがえれ！江川



ほくたちは 公津地区を流れる江川について、水が汚れる原因や生息する生物の種類、昔の様子などを調べました。地域の方からの聞き取り調査、図書館や市役所からの資料集め、現地での水質検査などもしました。インターネットも活用しました。その結果、江川は生活排水が主な原因で水が汚れ、川底にはヘドロもあり、水辺の生物が減っていることがわかりました。

江川を汚さないために、ほくたちは毎日の排水に気を配ったり、ごみ拾いをしたりして、協力を呼びかけています。

みんなの力でもっときれいな川にしたいと思います。

公津小 根本 恒

おじいさん、おばあさんとのふれあい

総合的な学習の時間に、ほくたちはボランティアについて取り組むことになり、「スマイリー活動をしよつ」というテーマに決まりました。

先日、学校の近くにできた老人介護施設に行き、見学してきました。



した。お風呂やトイレを見せていたんだけど、すべらないようになっているいたり、自動で明かりがついたりして、いたる所でバリアフリーを体感することができました。

また、おじいさんやおばあさんとおふれあうためにゲームをする、お年寄りとは思えないほどの明るさを見せてくれました。

「介護施設はこのような環境を作るところなんだあ」と感じました。

久住第三小 大竹 洋祐

「森姫」「森太郎」を救え

10月2日から4日まで、ほくたちは長野県の戸狩に体験学習に行きました。

ここでは、カヌーやおやき作りなどをしましたが、一番印象に残っているのは「二百目の鍋倉山登山」です。目的は「森姫」「森太郎」というフナの子木を守るために、その根元にわらを敷くことでした。実際に登ってみると山道は険しく、落葉や木の根でかなりすべり、尻やひざが泥だらけになりました。でも、手に持ったわらだけは話さ



ず、なんとか森姫にたどり着くことができました。樹齢350年以上たっている木の幹は太くて空に大きく枝を広げていました。わらを敷きながら、自然を守るこの大切な苦勞を学ぶことができました。

新山小 田辺 皆人

あとがき

子どもたちの興味・関心に基づいた自発的活動や体験学習を通して、自分で課題を見つけ、考え、判断し、問題を解決していく力を身につけてもらいたいと思います。